

小・中学生に 自転車運転免許制度を 導入しては

庄司 慎 議員



▲ 県子ども自転車運転免許制度に参加する児童たち(東小)

中学生に「免許証」を、高校生には「終了証」を発行する「自転車運転免許証制度」を、導入する自治体があるが、本市でも導入してはどうか。

市民生活部長 小学校、幼稚園では毎年講習会を行っています。

本年度から「埼玉県子ども自転車運転免許制度」事業が行われることになり、本市では、戸田東小学校が参加校に指定され、希望者64名が試験に臨みます。本市としての制度導入は、戸田東小学校の結果を見て検討してまいります。

議員 増加する自転車交通事故に歯止めをかけるために、警察・学校・PTA等で「講習会・簡単な試験・交通ルールや安全な乗り方の指導」を受ける。そして、受けたら、小・

議員 介護保険の請求のチェック体制強化を

議員 介護受給者から告発する声があるが、民間事業者の中には、不正請求をしている事業者がある。厚生労働省の発表でも、32億円の不正請求があったと報告されている。

本市内の民間事業者などでは、市の案内で16事業所があると紹介され、サービス内容の問い合わせを6ヶ所に電話で聞いてみたが、自分の利用したいサービスがなかったし、利用料金が高く請求されることがわかった。民間事業所によって料金の差が出るのかと不審に思ったという声もあり、市のチェック体制を強化すべきではないか。

福祉部長 不正請求は、今までなかったと認識しております。今後においても不正請求がないよう、業者やケアマネジャー等の指導を適切に行ってまいります。

児童・生徒の安全対策は

秋元 伸之 議員



▲ ランドセルには防犯ブザーの着用を

は、連れ去りや犯罪に巻き込まれる可能性を秘めていると思う。このようなことから、本市としての犯罪ブザーの効果や今後の安全対策の課題、そして問題点を伺いたい。

教育部長 防犯ブザーの配布だけに終わることなく、6月8日を「子どもの安全を守る日」と制定し、ポスターやのぼり旗、防犯スプレーの配布、横断幕や公用車へのステッカー掲出、回覧やチラシなど市民や市職員への啓発に努めてまいりました。防犯ブザーの所持率の低下を改善させるに

議員 子どもたちの安全対策の一環として、本市でも平成14年度から全小・中学校に「携帯用防犯ブザー」を配布している。しかし、防犯ブザーに対する児童・生徒の認識が薄く、所持率が低いと聞いている。塾通いや部活などの時

は、学校だけでなく保護者自身のわが子の安全を守るための強い意識を持つことが大切と考えます。そうした自衛意識の向上を図るため、保護者や地域住民にも積極的にかわるよう働きかけてまいりたいと考えます。

議員 児童・生徒の安全対策は、様々な対策を考えなければならぬと考える。携帯型パーソナルセキュリティは、防犯ブザーにはない性能を持ち、子どもの居場所不明検索に力を発揮し、不審者から子どもを守るシステムとして利用が増えていると聞いている。安全対策の観点から考えを聞きたい。

教育部長 この位置検索システムの効果については、防犯ブザーにはない効果があることは教育委員会でも認識しております。しかし、このシステム導入については、契約料・毎月の基本料金・付属品など膨大な予算が必要になるため、導入につきましては、慎重に研究してまいりたいと存じます。

グレースコート前の 違法駐車対策を

望月 久晴 議員

議員 マンション「グレースコート」(下前2)前の市道第3019号線は、交通量は少ないが道路の幅員が広い。そのため、大型車などの違法駐車が増えない。近くに子どもたちが大勢遊んでいる「こぶし公園」もあり、大変危険なので抜本的な違法駐車対策を求める。

市民生活部長 ここは違法駐車重点指導地域外となっており、警察と連携して、巡回パトロールを強

めていきたいと考えております。

都市整備部長 車道を狭め、歩道を広げる工事を平成18年度に予定しており、違法駐車対策につながるかと考えます。

議員 平成18年に歩道を広げるとのことだが、まだ2年も先であり、当面の対策として、車道の歩道側に違法駐車できないように、カラーコーン(円すい形などのもの)を設置できないか。



▲ 大型車などの違法駐車は大変危険

まいます。

太極拳の普及で市民の健康増進を

議員 太極拳はゆつくりとした動きを基本としているために、年齢、体力に関係なく、誰にでも、どこでもできる。そして、ゆつくりとした動作であっても、様々な姿勢をとって足腰に一定の負荷を掛けるため、足腰の強化になり、腰痛の解消、転倒の予防などに大きな効果がある。また、太極拳は動作に合わせて腹式呼吸を行なうため、酸素を全身に取り込み免疫力を高め、心身を安定させる効果もある。本市でも各地域や学校などに太極拳を普及し、子どもから高齢者までの健康増進に役立ててはどうか。

医療保健センター事務 長 医療保健センターでは、健康増進のために、ウォーキングを推奨している。太極拳については、今後の検討課題とさせていただきます。

子どもの安全確保に 万全な対策を

手塚 静枝 議員

議員 子どもたちを狙った犯罪が多発している。安全確保の万全な対策が望まれる。本市の「学校の安全」「通学路の安全」等、子どもの安全確保はどうか。

- ① 防犯マニュアルの作成は
- ② 校門などに防犯カメラや感知センサーの設置は
- ③ 学校警備員が配置されない月の対応は
- ④ 防犯教室の実施は
- ⑤ 教職員の防犯訓練は
- ⑥ 防犯ブザーの点検と改善は



▲ 確認しておこう「子ども110番の家」

⑦ 通学路安全マップの作成は

⑧ 「子ども110番の家」の運用と改善は

⑨ 通学路に防犯カメラや子ども緊急通報装置の設置は

⑩ 学校や公園の緑化については、防犯を意識した手入れが必要では。

教育部長 本市では大阪池田小学校の児童殺傷事件を契機に、全校で子どもの安全確保に取り組み、「危機管理対応マニュアル」を作成し、毎年内容を見直しながら充実を図り、子どもの安全確保に努めています。

学校警備員の配置のない4月は、校内の巡回、登下校時の児童の安全確保などを、PTAの協力を得て実施しています。今後は配置するよう考えてまいります。

防犯教室の実施は大変意義あるものと考えます。市内小・中学校では、蕨警察署に依頼し、すでに実施した学校、これから実施する学校が14校あります。防犯

教室以外でも学級活動の時間に、警察への通報の仕方や危機回避の方法など、担任教師が児童・生徒に指導しています。

口チャース周辺を安全に

議員 美女木1丁目の口チャースと美女木ハイツの交差点は、休日などは一層道路が混雑し、事故の危険性が高い。信号機の設置は。

市民生活部長 信号機設置は交通量・事故件数等を考慮し、重要度の高い順に設置されますので、今後、蕨警察署・都市整備部と協議しながら、交差点の安全対策に取り組んでまいります。

*「子ども110番の家」=通学路を中心にお店や民家に設置されている子どもの緊急避難場所、黄色い看板を掲示している

*「子どもの安全を守る日」=池田小学校の事件のあった6月8日に定め、教育委員会と各小・中学校は、安全確保と防犯意識を高めるための活動や取り組みをしている